



「若鯨会」を知る

in 那古野



フラクレール株式会社
 代表取締役 大場 誉清

株式会社スクラムバック
 代表取締役 沼田 雄介

若鯨会で出会ったビジネスパートナー。
 ビジネスパートナーから共同起業への発展。

仕事だけではない。本音で付き合うことができる交流会だからこそ実現した
 「新規事業の共同起業」。
 そこに至るまでの軌跡をご本人たちに直接インタビュー!

Q 設立した「株式会社スクラム」の事業内容は?

沼田: 株式会社スクラムの事業内容は「就労持続支援B型事業所」です。障害者総合支援法に基づく就労継続支援のための施設で、障害や心の病によって一般企業への就職が困難な方に商品の製作、検品、梱包などを訓練し、就労機会を提供しています。

Q 二人の出会いから起業のきっかけまで。

大場: 最初の出会いは委員会でした。その後3年連続広報渉外委員会で一緒になったのと、同年で血液型も同じAB型、また仕事面でも沼田さんは広告業、私はデザイン業で業種も近いと言うこともあり、すぐに意気投合しました。

沼田: プライベートなことも話す機会が増え、私の妹が心の病で若くしてこの世を去ったことを打ち明けました。すると大場さんも家族の辛い経験をされていて、私の気持ちを一番理解してくれたので特別な存在に感じたことを覚えています。

仕事を通じて就労継続支援事業のことで知り、妹にも通わせたかったという思いで大場さんに話をしたら「だったらやった方がいいよ! 僕も手伝うし、一緒にやろう!」と背中を押されて一緒に起業する決意を固めました。

大場: 起業にあたり、手続き上の業務も他の会員さんに助けてもらっています。若鯨会は、言ってみればその道のプロの集団ですので、困ったときに相談できる人がいるというのは本当に助かりました。



Q 入会希望者、現会員に向けて。

沼田: 今回、起業することになるまでに、いくつかの段階がありました。

最初は、仕事にプラスになる人脈づくりのために若鯨会に入会したこと。

二つ目は、若鯨会でグループのスタッフ、委員会、サークル活動をしたこと。

何かを一緒に成し遂げたり、時間を沢山共有すると、その人の人柄や役割に対する姿勢が見えてきます。自分と合うと思えた人に、まずは自分からプライベートなことや事業のことを話してみる。そして、相手の話もよく聞く。ここで、信頼関係が生まれました。三つ目は、その人に一度、業務を依頼してみたこと。トラブルもなく順調に運ぶことはとても重要です。

私たちは、それらの過程を経て今回、新事業の起業に至りました。まずは、若鯨会をどのように活用してよいか分からない方の参考になればと思います。

「若鯨会」とは? What is the "WAKASHACHI-KAI"?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で35年目を迎える若鯨会は創立以来、自主運営で事業活動を行っており会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に、業種の壁を超えて活動しております。

14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

資料請求はコチラ

お問い合わせ
 お申込み先

名古屋商工会議所 中小企業・会員支援部内 若鯨会事務局 担当 / 田中まで
 Tel.052-223-5636 Fax.052-204-8521

詳しくはホームページにアクセスしてください。

<http://www.wakashachi.net/>

若鯨会

検索